

「地域分権 ～地域からの予算提案～」

1. 「地域分権」の概要

全国初、池田発の「地域分権」

地方分権改革の最終目標である「自分たちのまちは自分たちでつくる」基本理念の実現に向け、他の自治体に先駆けて取り組むもの(H19.6.29 条例制定)。

具体的な仕組み

地域の課題を解決し、暮らしやすいまちづくりを実現するため、各小学校区(11 小学校)ごとに市民による「地域コミュニティ推進協議会」を設立。

各協議会は地域の課題やニーズに合った事業を市に予算提案。

予算提案額：個人市民税の1%程度(約7千万円。1校区600～700万円)。

各地域において、自主的な活動(地域イベントなど)や市との協働事業も実施可能。

2. これまでの取り組みの経緯

<H19 年度>

日 時	内 容
4月22日	倉田市長4期目当選 マニフェストに「地域分権条例」の制定を掲げる。
5月2日 ～22日	「地域分権の推進に関する条例(案)」へのパブリックコメントを実施(4人から11件あり)
6月29日	6月の定例市議会で、「地域分権の推進に関する条例」が全会一致で可決成立
7月24日 ～8月20日	・制度に関する地域説明会などを開催(27回・798人参加) ・地域コミュニティ推進協議会の準備委員を公募(465人応募) ・ボランティア職員の庁内公募(67人応募)
9月3日 ～10月12日	・校区別に地域コミュニティ推進協議会の準備委員会を開催 ・会則や役員を選出などに関する検討・決定を経て、全校区で地域コミュニティ推進協議会が設立
～11月下旬	地域コミュニティ推進協議会で提案に向け議論 各部会の設置、ワークショップやフィールドワークなど実施。
12月5日	予算提案(地域コミュニティ推進協議会の会長会議を開催)

3. 予算提案の主な内容について

(1)安全・安心

- 防犯灯（街路灯）の増設と球替え
- 防犯カメラ（監視カメラ）の設置
- 地域パトロール隊編成（青パト車の購入）
- 避難施設等の表示・交通安全看板の設置
- 防災器具（A E D等）の配備・強化
- 公園に防災倉庫を設置

(2)福祉

- 配食ボランティア
- 市道内等にベンチ、手すりを設置
- バス停ベンチの増設

(3)環境

- 校庭の芝生化
- 不法投棄禁止の看板設置
- 花いっぱい運動

(4)広報

- コミュニティ誌発行
- 協議会のホームページ開設
- 掲示板の設置

(5)その他

- まちかどギャラリー（掲示板も兼ねる）
- 公園整備(高架下にバスケットゴール設置)
- 公園内に桜の植栽
- イベントの拡充
- 散策ルートの整備

地域別の提案内容については別紙参照。

4. 今後の予定

12月～1月下旬：予算提案についての庁内審査（査定）

3月：（提案に基づく）予算案の議会審議

4月～：事業実施（地域コミュニティ推進協議会による事業評価）